

1ST LAYER (BASE/下地づくり、トレーニング)

●ベース作り（雪質に合わせて滑走面にワックスをいかにしみこませるか）

ワックスの重要性は「滑走面にワックスをいかにしみこませるか」にかかっているといても過言ではありません。

どんなに雪質にマッチしたワックスを塗っても、滑走面にしみこんでこそ初めてその効果を発揮するのです。

雪温、雪質によって選定したワックスを<レーシングワкса>を使用してホットワックスします。

<ワックスフリース>を使うとより均一に塗ることができます。スキーマスクを<マスキングテープ>で保護すると、

ワックスがピンディングに付着したり、プレートの隙間に入り込むのを防ぎます。アイロンで火傷しないようにご注意ください。

※アイロン温度は室内での融解温度を示しています。

ワックスをミックスした場合は、多少変わります。滑走面を傷めないようにワックスをたくさん垂らして下さい。

※【ホットワックスの使用法】

- 1 スチールまたは、ブロンズブラシで滑走面に残っているワックスや汚れをクリーニングして下さい。
- 2 ケアフリースで拭き取ります。
- 3 スキーマスクをマスキングテープで保護すると、ワックスがピンディングに付着したり、プレートの隙間に入り込むのを防ぎます。
- 4 ワックスに合わせ温度を設定します。
※環境によって使用ワックスの溶解温度が変わります。
- 5 雪質に合わせたワックスをします。
- 6 ワックスをします。
- 7 冷えたらスクレイピングします。
- 8 オーバルブラシブロンズでブラッシングします。
- 9 馬毛ブラシでブラッシングします。
- 10 マイクロフィニッシュスチールで仕上げます。

※【リキッドワックスの使用法】

- 1 スチールまたは、ブロンズブラシで滑走面に残っているワックスや汚れをクリーニングして下さい。
- 2 ケアフリースで拭き取ります。
- 3 ベースワックスリキッドを良く振り攪拌します。
- 4 ケアフリースにベースワックスリキッドを垂らします。
- 5 滑走面に塗り込みます。
- 6 乾く前にフィニッシュコルクのフェルト部分で塗り込みます。
- 7 馬毛ブラシでブラッシングします。
- 8 マイクロフィニッシュスチールで仕上げます。
- 9 更にケアフリースで仕上げます。

